



豊川市

本庁舎等整備ニュース

vol.
5

豊川市本庁舎等整備基本計画の策定を進めています！

本庁舎等整備に向けて、令和5年9月に策定した「基本構想」で示す方向性に沿って、導入する機能や規模などの条件を定め、設計にあたっての要件を整理する「基本計画」の策定を進めています。

令和6年2月16日に開催した第4回策定委員会では、新本庁舎の導入機能・性能や整備計画（案）について、5月17日に開催した第5回策定委員会では、キャッチコピーや配置計画（案）について、これまでに検討した庁舎整備の基本理念及び方針並びにワークショップからの提案を踏まえ協議を行い、意見、ご提案をいただきました。

今号では、第5回策定委員会での協議内容を中心に、基本計画（検討案）の検討状況についてお知らせします。



庁舎整備の方針(キャッチコピー) ★

基本構想で掲げた「3つの基本理念」や「9つの方針」に加え、ワークショップでの意見などを参考にして「キャッチコピー」を決めました。

キャッチコピー

歴史をつむぎ みんなで創る 未来への庁舎

このキャッチコピーには、これまでの豊川市の歴史や文化をつむいで来た先人の志を継承し、人と人のつながりを大切にしながら、市民と共に新たな価値をもった、未来へ続く魅力ある庁舎を創りあげていきたい、という思いが込められています。

＜策定委員会での主な意見＞

- ◆「歴史をつむぎ みんなで創る」は現在を大事にしながら将来のまちを創っていくという意味で良い言葉だと思う。
- ◆「歴史をつむぎ」は松並木を意識すること、「みんなで創る」は市民参加で進めていくこと、「未来への庁舎」は未来志向の庁舎を作っていくこと、への呼びかけであると理解できる。

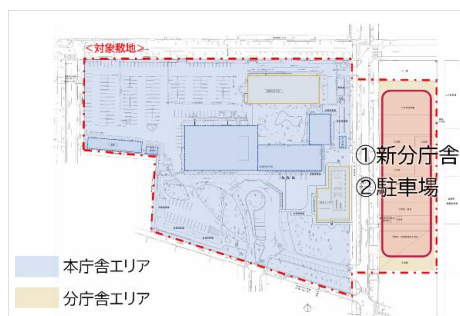


このキャッチコピーは、市民の皆さまと「新庁舎の目指す姿」を共有するほか、今後、設計を行う際に配慮する基本的な指針となるものです。

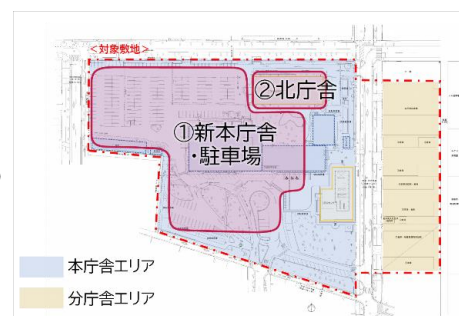
整備計画 ～ゾーニング・配置計画～

●新庁舎整備の進め方

新庁舎等の整備にあたっては、分庁舎エリアを先行整備し、新分庁舎、駐車場を整備したうえで、その後、本庁舎エリアの整備を行うこととします。



【1】 分庁舎エリアを先行整備



【2】 本庁舎エリアを整備

●ゾーニング

新本庁舎が建設可能なA、B及びCエリアについて、最適なゾーニングを検討しました。

基本構想に掲げた3つの基本理念、9つの方針への適合性から評価した結果、総合的に高い評価となるAエリアを新庁舎の建設位置として検討を行うこととします。

整備の考え方	A案 Aエリアに新本庁舎を整備 したのち現本庁舎を解体	B案 Bエリアに新本庁舎を整備 したのち現本庁舎を解体	C案 現本庁舎を解体したのち Cエリアに新本庁舎を整備
ゾーニング イメージ			
総合評価	◎	○	△

●配置計画

新本庁舎を1期工事で整備する案と比較して、2期工事で整備するA-2案は、庁舎を2棟に分け、段階的に整備するモデル案ですが、新本庁舎の一部を正面の見やすい場所に配置できることにより、視認性が高くなり、かつ、庁舎間の繋がりにについても向上を図ることができるメリットがあるため、A-2案で今後の検討を進めることとします。

A-2案(2期工事)



＜策定委員会での主な意見＞

- ◆ 2期工事で3つの庁舎をつなぐ新しい庁舎を建てることで、姫街道からの視認性もよくなり、シンボリックな建物になる。
- ◆ A案それ自体は良い。周辺の公園と一体的に繋がる点を意識して計画した方が良い。
- ◆ 2期工事の部分、正面に見える一番良いところをどうデザインするかが設計者のオリジナリティとなる。プロポーザルでアイデアを上手に引き出すことを期待する。

※ゾーニング・配置計画については、A-2案で検討を進めますが、今後の設計段階において、新庁舎に最も適した建設位置を最終的に決定することとします。

以上の検討案を踏まえ、引き続き基本計画の策定へ取り組んでいきます